資料14

ICTの活用や専用コミュニティサイトの構築により、遠方の学校(現任校)との情報



訪問指導を主体として オンライン指導との相乗効果を見込む



現任校への「訪問指導」を主軸に、<u>オンライン指</u> 遵を組み合わせて、シームレスな指導の補完体制 を実現する。

校内でのネットワーク状況や機 器の整備に左右されないよう、 大学側が全面バックアップ。

和歌山大学教育学部では、早期からTV会議システムを用いて、学校現場や各研修施設をつないで交流事業をおこなってきた。ネットワーク回線の状況を見極め、ベストなシステムを整備し、安定した交流がおこなえるように配慮します。

専用SNS「Teachers コミュネット」による授業記録の交流及び学校マネジメントに関する情報共有



当システムは、平成25・26年度「初任者研修高度化事業」においての稼動実績があります。大学への登校時と現任校での活動をつなぐ役割を果たしています。フォーマルな研究の枠組みではなく、日常的な情報交換・共有を目的としています。

教職大学院講義の配信による「反転学習」の充実

- 講義形式でおこなわれる専門科目のうち、オンライン形式で校内・自宅にて受講可能なパートを設ける。
- 県内学校にIDを発行。体験視聴も可能。資料や確認問題などもオンラインにて提供。「学び続ける教師」を支援



一般の学校にも 広く公開し、自 主的に学ぶ機会 を提供する。

和歌山大学の教 員による講義の ため、質問や感 想などは、直接 大学で話すこと が可能。

和歌山大学教育学部には、平成17年度から県内向けにe-learningを利用した防災教育に関する講義配信の実績があります。そのノウハウを活かし、対面とオンライン講義を組み合わせた学習・研究が充実できるよう、円滑な運用を目指します。

授業・研修等の映像の蓄積と分析

• 授業映像による授業分析手法のレクチャー、研修や研究 協議等の収録によるマネージメント指南等の実施。



具体的な授業映像や研修・研究協議等の映像を元に検討をおこない、より教育現場に即した指導法やマネジメント等の力量を伸ばします。

ICT活用技能の指導体制

ICTを用いた各種コミュニケーションツールの校内整備およびその 活用技能の向上については、教職大学院が全面的にサポート。

教職大学院

現任校



(模擬授業教室)



児童生徒の個人情報の扱いや 各種校内情報の取り扱い関しても 専用のガイドライン・セキュリティポリシーを適用ん